

仮説実験授業ワークショップin帯広での分子模型作り

2010. 3. 4 小樽分子模型の会 斎藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

2010年1月12日～13日に、帯広市の道新ホールで行われた仮説実験授業ワークショップin帯広での講座や分子模型作りのようすをお伝えします。

中標津の夜に

2009年の夏に中標津で行われた仮説実験授業の入門講座のナイターで、阿部さんが帯広で講座をやりたいと言ってくれたのが始まりでした。ボクも分子模型をやりますよと言ったら喜んでくれて、それがうれしかったのを覚えています。講師は帯広仮説サークルを中心に岩見沢仮説サークルも加わり、阿部さんが準備を進めてくれました。

ゆったりと仮説委実験授業が流れる

阿部さんの説明でゆったりとワークショップは始まりました。

最初は《生物と種》の体験講座を受けました。久しぶりに講座を受けて、授業書で使う写真のデータももらい、ずいぶん自分ではやっていない授業書だったのですが、また授業をやってみたいと思いました。

杉目さん、ありがとう。

ワークショップが進むにつれて、なんだか時間の流れが気持ちよく感じることに気づきました。《自由電子が見えたなら》の公開授業は、ボクにとっては大ヒットで、「自然に仮説実験授業が流れてる」という感覚を覚えました。さすが祥江さんです。こういう設定を準備してくれた阿部さんにも感謝です。

1日目の最後は「よろず相談室」です。帯広仮説サークルの誇る男性陣が、参加者に事前にかけてもらったアンケートに答えるという形で進みました。でも、しゃべりたい人が結構多くて、あちこちから補足が追加され、でもなごやかに進みました。



なかなか予想が当たらない三態変化

2日目は授業書体験講座と授業書準備講座、分子模型作りが行われました。

ボクは《三態変化》を授業でやったことがなかったので、受けようと思っていました。最初は他の授業書で出てきた問題を参考にしたり、研究会で話題になっていたことを思い出して答えることができたのですが、途中から予想が当たらなくなり、討論もいっぱいしゃべったけど見事にはずれまくりました。久美ちゃん、かきまわしてゴメンね。



久しぶりの帯広での分子模型作り

2005年の冬に帯広で「たのしい授業入門講座in帯広」があり、そこで分子模型作りを担当させてもらいました。今回は5年ぶりの帯広での分子模型作りで、たのしみにしていました。

1日目の午後に、分子模型の道具や発泡スチロール球を、全体会が行われる部屋の後ろに運び込みました。しばらくして、公開授業のために集まってくれた御影小学校の子どもたちが入ってきました。最初のうちは、祥江さんの近くに集まっていたのですが、祥江さんのGOサインが出ると、ドーンと子どもたちが発泡スチロール球や見本の分子模型に走り寄ってきて、「あ、酸素だ」とか、「これ、なんの分子」とか話しかけてくれました。仮説実験授業の効果を、ワークショップに参加した人々は見て、驚いてくれたことでしょう。

分子模型作りも大人と子どもで12~3人が参加してくれて、わいわいしゃべりながら思い思いの分子模型を作ってくれました。今回は阿部さんが参加者に電熱線カッターと孔定規をプレゼントしてくれ、こういうのも良い案だなと思いました。

全体的に人数はそう多くはなかったはずなのに、すごくたくさん人がいて、充実したワークショップで、たのしかったです。

